

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 ☎763-5110  
 会長 黒須 一夫  
 幹事 大口 弘和  
 会報委員長 秋山 茂則

No. 15

### ロータリーを楽しもう！ ENJOY ROTARY！

1989～90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

### 第357回例会平成元年10月24日(火) 晴

#### ◇ “奉仕の理想”

#### ◇ 出席報告

会員 61(60)名 出席 48名  
 出席率 80%  
 前回 10月17日(修正出席率)98.33%

#### ◇ ビジター紹介

名古屋守山RC 小淵 連名古屋第二分区代理  
 彦根RC 小川 良紘君 他5名

#### ◇ お誕生日祝福

吾郷夫人(10/26)

#### ◇ ニコボックス

名古屋第二分区代理 小淵 連君  
 名古屋第二分区代理付委員 徳永 和人君  
 貴クラブを訪問させていただきましたので。  
 黒須 一夫君、成田 良治君、永井 正義君  
 大口 弘和君、鷲野 義明君、西村 禎二君  
 小淵 連名古屋第二分区代理をお迎えして。  
 杉山 貞男君 ヒュー M.アーチャーRI  
 会長とシカゴでお会い致しました。  
 水野 民也君 日本ボウリング場協会の全国  
 大会が大阪で盛大に行われました。  
 当社の選手が個人優勝と準優勝しましたうれ  
 しみ。

小坂井 盛雄君 本日ヤマハマリーナ浜名湖  
 の取締役支配人、廣江氏に卓話をお願い致し  
 ましたので。

吾郷 正夫君 夫人誕生日祝い。

鈴木 正男君 結婚記念日祝い。

#### ◇ 大口幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアSEMBリーを  
開催いたしますので、理事役員、各委員長  
の方は芙蓉の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、理事役員会を開催いた  
しますので、理事役員の方はお残り下さい。

#### ◇ バナー紹介

#### One Rotary Center, Evanston (RI)

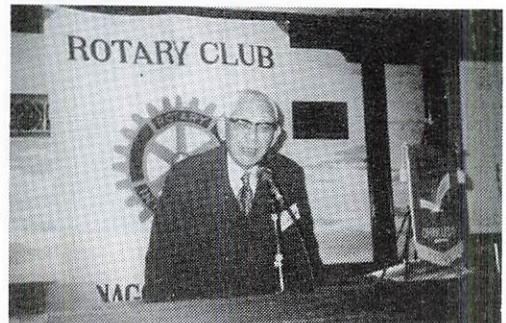
杉山 貞男君

先月、息子がシカゴの会社で働いています  
 ので訪れた際に、本部へ行ってまいりました。  
 全く偶然にヒュー モリス アーチャーRI  
 会長がいらっしゃり15～20分お会いしました。  
 例会長で女性会員をみかけた事や、ニコボッ  
 クスは1ドルで各テーブルから集めた事など  
 には驚きました。

#### ◇ 黒須会長挨拶

本日は小淵分区代理をお迎えして例会を開  
 催できる事を大変うれしく思っています。先  
 生は弁護士をなさっておられ、また守山RC  
 の会長も歴任されました。本日は午前11時30  
 分より会長・幹事懇談会を行い、正副会長、  
 会長エレクト、正副幹事と共に御指導を賜り  
 ました。これからお話をさせていただきますの  
 でどうぞよろしくお願いたします。

#### ◇ 小淵名古屋第二分区代理挨拶



本日は例年通りの事ですが、ガバナー公式  
 訪問の前に各クラブの例会におじゃまして  
 会長・幹事懇談会、例会、クラブアSEMBリー  
 の様子をガバナーに報告する役目でやって  
 まいりました。

今年は報告事項が多く、詳しい報告書を提

出する事になっておりますが、そのかわりガバナーと共に公式訪問にまいるという事はございません。どういう訳かガバナー公式訪問と分区代理公式訪問が2度あるという噂を耳にしましたが、そのような事はございません。

分区代理はガバナーが公式訪問をされる前に下準備をし、報告するためにまいったのでございます。

ロータリークラブは一つの組織体、奉仕団体であるといえましょう。その目的を達するために知り合いを広め、自分の職業の道徳的水準を高める事に心がけ、また奉仕の精神を大いに高揚してそれを世界に及ぼし、やがては世界の平和に貢献するというのが、公的ロータリーの理念でございましょう。

しかし、朝から晩まで奉仕奉仕と言っているてもしょうがないので、やはり和やかに楽しくなければいけないのでは、と私はかねがね思っております。親睦は非常に大事で、内部において本当の和合があり、親睦がありませんと十分な奉仕活動もできないであろうと思っている訳でございます。

はからずも今年“Enjoy Rotary!”がテーマで、“ロータリーを楽しもう!”と単純に考えてよいかは疑問ですが、私が多年思っていた事と一致する訳で大変喜んでおります。

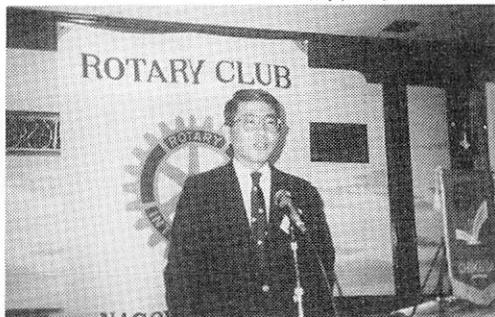
これをもちましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

#### ◇講演

“マリン業界の現場から見た顧客とマリンライフの変遷と将来展望について”  
株ヤマハマリーナ浜名湖 取締役支配人  
いそしらう

廣江 五十七郎 氏

(紹介 小坂井君)



ヤマハがボートの生産を始めたのは昭和35年でした。戦後15年、当時のことを想い出しますとよくアメリカ映画を見に行きました。そして映画の中の物質文明のスゴさにあこがれたものでした。当時はマイカー時代の入口でしたがとても自分が所有出来るものとは思えません。ましてやボートなど考えも及びませんでした。そんな時代にヤマハはボートの生産を始めたわけです。当時の日本の状

況はアメリカが風邪を引けば日本は肺炎になると言われておりました。いささか手前ミソですが今日ヤマハがおかげさまでトップシェアをもつトップメーカーとしてマリンスームの中で評価いただいておりますのも、やはり29年の歴史と伝統に基づいたノウハウの蓄積があったからだと思えますし、当時、生産に踏み切った経営トップに頭が上らないわけです。しかしながら当時の日本の状況から考えますとずい分苦労が多かったと思えます。私がヤマハ発動機に入社したのは昭和46年でした。ヤマハがボート生産を開始して早11年目でした。当時はマイカー時代でしたから車は別段めずらしいものではなかったのですがボートについては、そんなものがあることすら知らない人があった時代ですし、「ゼイタク」な物と言う認識が一般的でした。私は入社後直ちに京都にありました大洋自動車に出向し、ボートとヨットの直売を始めました。東京、大阪に比して京都は未だ未だ田舎でしたので、販売にはそれなりの苦労はありましたが、市場を創っている喜びがありました。元々ボートの市場はなかったのに、市場そのものを創る為に各種の需要創造活動を行いました。ヨットスクールやボートの免許教室、そしてレースの運営など通常の販売活動にはない活動をしておりました。土・日は先生、月曜からは生徒さんを訪問して買っていたと言ったパターンでした。さて、当時のお客さんですが、やはりお医者さんが多かったものです。次には土木建築業の社長さんも多かったと思えます。共通していることは、ゴルフや車には「アキ」な人が多かったことです。戦後26年目の日本の経済力のスピードの早さに威かされたものです。今で言うベンチャー企業の社長さんも見られました。小さなディンギーヨット(キャビンのないヨット)ではエリートサラリーマンが目立ったものです。当時のお客さんは、お医者さんや儲けられた中小企業の経営者、そしてエリートサラリーマン(ただしディンギーヨットで¥398,000-)が中心と言うことになります。さて当時のお客さんがどんな遊びをされていたかですが、ボートでは水上スキーをしたり、クルージングをしたりと言った所ですし、ヨットではレースとクルージングでした。ボートの場合は休日が少ない時代でしたからいわゆるリゾートっぽい遊びと言うのはほとんどなかったものです。せっかちな遊びが主体でした。又、当時のボートは小型でしたから、波の高い海ではとても落ち着いて乗っているものではなかったのです。即ち物理的に乗れないことも多かったものです。

ヨットの場合は風まかせで時間を要する遊びですから夜を徹して遊ぶ人も多かったもの

です。しかしながら仕事の都合で来れなくなった人も多く（時間が取れない為に）やはり休日の少なさが目立状況であったことには変わりはありませんでした。当時のお客さんですが、もう一つの特徴と言えばお医者さんは別ですし、サラリーマンのお客さんも別ですが、倒産や経営悪化でボートから去った方が多かったことが思い出されます。強烈な時間だったのです、当時は。ですから販売側も大変でした。債権保全が大変でした。ローンもありましたが販売側の代位弁済契約でしたから不安があったわけです。もう一つ思い出しました。ファミリーでの遊びは多くなかったものです（ヨットはファミリーが多かった）。いわゆる……とご一語と言うのも多く見かけたものです。当時は家族対策、家庭サービスは一般的ではなかったのでしょうか。いずれにしても刺激の強いレジャーだったと思います。その後オイルショックによってボートは苦難の道に入りました。反対にヨットは省エネモードの中で急伸長しました。オイルショック後はボートの遊びに釣が入って来ました。ボート釣りによりボートは全国的な拡がりを見せました。都会人だけのものではなくなったのです。釣ボートはシンプルな構造ですので長さの割りは割安ですから地方の方にとってコストパフォーマンスの高い遊び道具となったのです。さて、今日のボート、ヨットの世界ですが、まず時代の背景ですが、ご存知の通り豊かになりました。今日に於いてもオーナーさんの主流は企業主の方です。それも中小企業のオーナーさんが主体です。お医者さんは少なくなりました。時代の流れを感じます。ボート業界から見ておますが、個人の高額消費の姿がよくわかりますが、一言で言いますと「事業家が力強くなられた」と言うことになります。銀行貸入れ、長期の支払、手形の時代から脱却されているのがよくわかります。遊びも変わって来ました。昔は小さな艇が主流でしたが、今では50フィート（15m）の艇も目立つ様になり、お客さんは遊び方によって艇を選ばれる様になりました。遊びはバラエティーに富む様になりました。クルージングや釣、水上スキー、日なたぼっこ、レース等々、それぞれ個性的に遊ばれております。福利厚生施設として使用されている例は多く、従業員の方々が楽しんでおられるのもよく目にいたします。大手企業の都会サラリーマンですとまずボートに乗る機会が少ないと思います。しかしながら中小企業、力強い中小企業のサラリーマンの方々はボートで遊んでおられる。すばらしいことだと思います。休日も昔に比してずい分多くなりました。東京や大阪では週休二日が急スピードで進捗しています。昔なら日曜集中していたマリネ

ジャーも今では土曜が多くなり日曜は家庭サービスやその他に使用されることも多くなって来ました。休日とマリネジャーには大きな相関関係があることは明白です。休日の多さはマリネジャーの積極的な条件の一つであります。今や日本は世界一の金持と言われております。車、ゴルフ、海外旅行とはほとんど総べてのレジャー分野で世界の水準に達し、あるいは超えております。しかしながらマリネジャーの世界では残念ながら世界の水準に達していません。まだまだマリネジャーを楽しむ人が少ないのです。たぶんマリネジャー人口が欧米並みになった時、本当に一流国になったと言えるのかもかもしれません。ただあまり心配はない様です。数年前から始まったマリネブームは滞まる所を知りません。一度火が付くと急速に拡がるのが日本です。本日この場にいらっしゃる皆様にぜひお願いしたいと思ひます。マリネの世界に来ていただきたいのです。マリネの世界はとっても自由です。道路はありません。一定のルールを守ればどこへでも行けます。名古屋からであれば紀伊半島をぐるりと廻って大阪まで、ほんの10時間です。晴天の日もよいものですが曇天の時計器を頼りに操船し、目的に着く。すごくロマンチックな世界です。又、何もしないで日なたぼっこも楽しいものです。皆様方は各界で人一倍ご努力をされている方にちがひありません。そう言う方にこそマリネの世界は最適なのです。厳しいビジネスの世界、そしてくつろぎのマリネの空間。これこそがビジネスエリートへの勲章だと思ひます。マリネの世界は高価な物に価値があるわけではありません。目的に応じたマテリアルを選ぶことに価値があります。海は道路と異なり波あり、風ありですから大きな艇でないといけない所もあります。しかし小さな艇でないといけない所もあります。要は目的によって大きな艇は無価値のこともあるわけです。この所が車とは大きく異なる所です。

本日お声を掛けて下さいました英和オーエーの小坂井社長もすばらしい海の男でいらっしゃいます。ビジネスにそしてすばらしい余暇に、ご活躍の姿は実に若々しく、私共のマリーナでも評判の方であります。

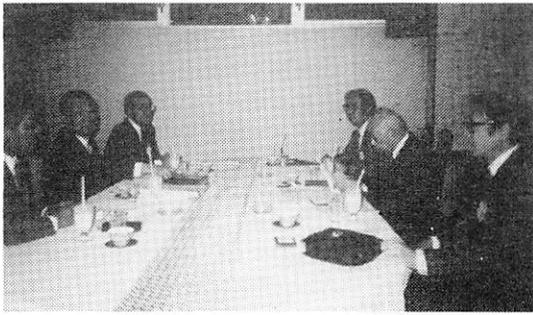
皆様に於かれましてはぜひマリネの世界にお越しいただきたいと思っております。

本日はマリネについてお話をさせていただく機会を与えていただきまことに有難うございました。

今後共にマリネの普及に邁進させていただく所存でございますので宜しくお願ひ申し上げます。

会長・幹事懇談会

11:30 ~ 12:30 葵の間



分区代理と正副会長、会長エレクト、正副幹事による懇談会が例会前に行われ、分区代理のご指導を賜りました。

クラブアSEMBリー

13:30 ~ 15:00 芙蓉の間



例会終了後は、クラブアSEMBリーが開催され、理事役員、各委員長、またクラブアSEMBリーにはじめて出席された8名の新入会員をまじえ、分区代理のご指導のもとに、活発な討論がくりひろげられ、非常に和やかな雰囲気うちに終了しました。

今週の言葉

善人なおもって往生す豈や悪人をや

竹内 真三

◇次回例会(10月31日)

クラブフォーラム(米山、ロータリー財団委員報告)

◇次々回例会(11月7日)

講演 “鉄筋コンクリート構造物の寿命”  
三重大学工学部教授

谷川 恭雄 氏 (紹介 吾郷君)

1989年度7~9月例会出席率(個人別)

(12meetings)

会員名	ホームクラブ	他クラブ	欠席	合計	ホームクラブ出席率	出席率	会員名	ホームクラブ	他クラブ	欠席	合計	ホームクラブ出席率	出席率	会員名	ホームクラブ	他クラブ	欠席	合計	ホームクラブ出席率	出席率
吾郷 正夫	12	0	0	12	100	100	小山 雅弘	8	4	0	12	67	100	尾関 武弘	6	8	0	14	50	117
秋山 茂則	9	3	0	12	75	100	久保田 皓	6	6	0	12	50	100	佐久間良治	10	2	0	12	83	100
安藤 銀之助	9	1	2	10	75	83	黒野 貞夫	11	2	0	13	92	108	佐野 寛	10	2	0	12	83	100
青山 敏郎	9	3	0	12	75	100	黒須 一夫	11	1	0	12	92	100	笹野 義春	9	3	0	12	75	100
浅井 誠寿	8	4	0	12	67	100	松居 敬二	9	4	0	13	75	108	菅原 宣彦	5	9	0	14	42	117
江崎 民夫	11	1	0	12	92	100	三輪 康	7	5	0	12	58	100	杉浦比左夫	8	5	0	13	67	108
深見 章	5	7	0	12	42	100	宮尾 紘司	11	1	0	12	92	100	杉山 貞男	9	3	0	12	75	100
林 淳三	7	5	0	12	58	100	水野 民也	7	6	0	13	58	108	鈴木 正男	6	6	0	12	50	100
堀江 宏輝	7	5	0	12	58	100	水野 賀統	7	5	0	12	58	100	鈴木 理之	12	0	0	12	100	100
池田 隆	2	3	7	5	17	42	永井 正義	10	2	0	12	83	100	武内 清	3	1	8	4	25	33
石田 紘	4	2	0	6	33	(58)	中山 信夫	11	1	0	12	92	100	竹内 真三	12	0	0	12	100	100
石田 耕助	6	7	0	13	50	108	成田 良治	10	2	0	12	83	100	谷口 暢宏	4	8	0	12	33	100
石黒 正則	10	2	0	12	83	100	新美 敢	11	1	0	12	92	100	上野 保	7	5	1	12	58	100
加藤 正義	11	1	0	12	92	100	西川 豊長	10	3	0	12	83	108	魚津 常義	11	1	0	12	92	100
加藤 大豊	9	4	0	13	75	108	西村 禎二	9	3	0	12	75	100	和田 正敏	7	5	0	12	58	100
加藤 敏昌	1	2	9	3	8	25	西尾 正巳	1	0	0	1	88	(100)	鷺野 義明	9	3	0	12	75	100
菊池 昭元	10	3	0	13	83	108	大口 弘和	12	0	0	12	100	100	渡辺 辰夫	10	4	0	14	83	117
木全 昭二	10	2	0	12	83	100	太田 茂	12	0	0	12	100	100	山本 真輔	10	2	0	12	83	100
北野寿三郎	12	0	0	12	100	100	大谷 和雄	7	5	0	12	58	100	安江 敏昭	6	2	0	8	50	(87)
小林 明	8	4	0	12	67	100	大矢 佳正	5	7	0	12	42	100	吉田 節美	11	1	0	12	92	100
小坂井盛雄	10	2	0	12	83	100														

( ) : 中途入会者の実質出席率